

2023年12月9日読書会用

第339回山口西田読書会（2023年11月25日開催分） プロトコル

田中克典記

1. テキスト

「場所」五 281頁4行目から282頁2行目

2. キーワードないしキーセンテンスと考察ないし問い

キーセンテンス

述語面が主語面を超えて深く廣くなればなる程、意志は自由となる

問い

西田はまず、述語面は主語面を超えて広がることで、判断意識を超越するという（281頁8,9行目）。更に、述語面に、深さという概念を与え、上記キーセンテンスとなる。更に、意志は「自由」になるが、その自由は、判断を離れるのではない、と云い、意志について、「述語を主語とした判断」という定義を勝義とする（282頁1行目）。それでは、このような「判断」である「意志」の「自由」を拘束していたものは何だったのだろうか？